

令和4年度事業計画

I 公益目的事業 1 (大学の教育研究に対する助成事業)

- 1 教育研究に対する助成 (23,000 千円)
 - (1) 調査研究助成 (15,000 千円)

令和4年4月から大学の研究領域が9から10に再編されるのに伴い、全ての領域を対象として、先端的研究拠点の形成・構築実現のための専門性の高い研究と、助教・講師を中核とする分野を超えた研究者グループによる共創的研究に対して助成する。
 - (2) 学生研究奨励金 (8,000 千円)

博士後期課程の学生のうち、優れた研究活動を行う学生に研究奨励支援をする。

II 公益目的事業 2 (大学と共同研究する企業等、産学官交流事業等への助成)

- 1 共同研究の実施に対する助成 (22,000 千円)
 - (1) 共同研究助成 (7,000 千円)

企業等が大学と行う共同研究に対して、当該企業等の研究費の一部を助成する。
 - (2) 北陸先端科学技術大学院大学産学連携本部デジタル化支援センター助成 (15,000 千円)

企業等のデジタル化に関する様々な課題解決のため、大学が設置するデジタル化支援センターの2名の専任教員に対する人件費を助成する。
- 2 技術指導・相談の実施に対する助成 (200 千円)

大学の「技術サービス制度」を利用する企業等に対して経費の一部を助成する。
- 3 産学官交流事業の連携協力等 (5,250 千円)
 - (1) 産学官交流推進事業 (4,000 千円)

科学技術分野における大学と企業及び研究機関等の産学官の一層の連携・強化を推進する。(Matching HUB Hokuriku 2022 の開催)
 - (2) 産学官連携・交流活動の開催や助成 (650 千円)

大学の教員、学生と地元企業や研究機関等との産学官連携・交流推進のために、セミナーの開催やフェスティバルへの助成をする。
 - (3) 機関誌「ADVANCED」及び支援財団概要の発行 (600 千円)

大学が行う教育研究活動や産学連携事業等を掲載した機関紙の発行(年1回)と、支援財団の目的、組織、事業活動内容等を紹介した支援財団の概要を発行(更新)し、企業をはじめ広く関係機関に情報提供する。

III 公益目的事業 3 (学生に対する奨学資金助成事業)

- 1 奨学資金助成 (2,640 千円)

優秀な学生の確保や北陸地区への科学技術者の定着を目的として、優秀な学生(特別枠)及び北陸3県に就職を希望する学生(一般枠)に奨学資金を助成する。

 - ・新規採択分 特別枠 1名、一般枠 2名
 - ・継続分 特別枠 1名、一般枠 2名 計 6名